新世紀を目指す“まち”

新世紀は、物質文明から環境や人の活動と自然の調和を重視し、生活の質的向上を目指す時代の到来です。

私たちの町は「二曲（じきょく）」と言われる水の辺り、山の辺りに恵まれた「海と緑にふれあうまち」です。

近き将来、私たちの町は、常磐高速道の延伸と100年の大計となる国道114号の拡幅改良により、都市基盤が整備されます。更には、有機農産物の栽培推進。中山間地域総合整備事業への着手。また、300年の伝統を誇る大堀相馬焼物産会館「陶芸の杜おおぼり」の新築により完全学校週五日制への適応や、心の文化に浸る陶芸体験コーナー。鮭ヤナと周辺環境の調和した整備。請戸漁港新港と市場機能の充実等々。

時代の変化に敏感に対応することが、住み良い町づくりと地場産業の振興につながると考えています。

本町の目指す町の姿は、逐次「広報なみえ」等でお伝えし、町民の皆さまと共に住み、味わいのある町づくりに取り組んで参ります。

浪江町長
叶　幸一

自然条件

浜通りの中央に位置し、西は阿武隈山地、東は太平洋を望み福島県の最東端になっています。平坦地は積雪も少なく温暖な気候に恵まれています。

産業・経済

人口・産業面では双葉郡における拠点になっています。常磐自動車道の富岡以北が整備区間に格上げされ、高速交通体系の確立がなされようとしています。また、東北電力の浪江・小高原子力発電所の予定地にもなっています。